

プロジェクト報告書

団体名 カリヨンとびらの家

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

子どもたちから希望のあった余暇活動・施設環境改善プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

このたびご援助いただきましたプロジェクトは、内容を検討するにあたり、施設の生活において必要なこと、自分たちの今後の自立生活にとって必要なことを、子どもたちから主体的な意見が出るように施設会議で相談し、その希望内容をとりまとめて申請させていただいたものでした。子どもたちが自立に向けて具体的にイメージできることがらに挑戦すること、また施設やそこでの人間関係を自分の「安心できる居場所」と実感してすごしていけるようになることを目的に、就職活動や今後の人生における冠婚葬祭に利用できるスーツの購入と、余暇活動としての旅行を計画しました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

- ①旅行の実施:当初計画ではスキー・スノーボード合宿でしたが、冬には既に自立を果たして、参加が難しくなる子どもが数名いる見通しであったため、時期を早めて夏の開催といたしました。旅行先は子どもたちにて相談し、「大坂」となりました。修学旅行に参加したことがない子どもも数名おり、関西方面へでかけること自体が大きな喜びとなりました。食事、観光、宿泊等の非日常感覚やグループ行動のマナーを学び、大いに満喫することができました。
- ②スーツ購入:就職活動、社会人として公の場で着用するスーツを購入させていただきました。施設から貸し出す共有物ではなく、個人の私物としての価値を実感し、またスーツの維持管理を学ぶこともできました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ①旅行の実施:旅の目的地、そこで体験したいことを、子どもたちが調べ、話し合い、計画し、それらが達成される、というプロセスを大切にしました。「たこ焼きを食べたい」、「USJへ行きたい」、「大阪城が見たい」と、それぞれのささやかな希望は家庭の中でこれまで叶えられなかったものばかりです。希望や主張が尊重され、また実現するために自らも行動することを子どもたちは学ぶことができたのではと思います。
- ②スーツの購入:児童養護施設等で育ってきた子どもは、施設の共有物を使用することには慣れていますが、社会人として個人の財産を管理する感覚を養う必要があり、本事業を通じて副次的な学びがありました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

- ①旅行の実施:初めての新幹線、初めての街、ホテルでの宿泊、テーマパークではしゃぎ、大人たちに守られてお金の心配をすることなく遊ぶことができる旅行…これは本来、子どもたちが幼少期に与えられるはずであった機会であったと思います。そうした経験を経て、家庭や友人集団の中での安心感や、余暇時間の使い方や新しい場所へ出かけていく挑戦を乗り越えることができるようになるのだと思います。法人の独力では実現の難しい豊かな旅行体験の機会をお与えいただきましたことに、心から感謝申し上げます。
- ②スーツの購入:このたびのスーツは、就職活動、成人式、冠婚葬祭で、長い間役立たせていただけたと思います。職員と共に一緒にスーツ店へ出かけていき、採寸し、デザインを選び、それを着用したときの子どもたちの誇らしげな表情はとても輝いていました。子どもたちひとりひとりもとても感謝しています。ありがとうございます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし